



# わが社の素形材新技術 / 新商品

## 特集企画趣旨

明けましておめでとうございます。日頃から本誌「素形材」をご愛読頂き有り難うございます。今年も引き続きご愛読、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

この1年を振り返ってみますと、ウクライナ紛争は依然として混迷しており、ガザやレバノンでの戦闘に関連してイスラエルとイランの関係も深刻度を増しています。このような中で何といても米国大統領選挙の結果、トランプ前大統領が再度登板することになりました。世界の経済や安全保障等に大きな影響力を有する米国を率いていく事になりますが、強硬な米国ファーストの政策を採ると予想され、各国との利害の対立激化、環境対応での後退も懸念されています。前政権時以上に忠実な側近達を重要ポストにつけており、今後の米国の動向に世界中が耳目をそばだてているところです。

このような予断を許さない世界情勢の中にあっても、日本としては引き続き経済の安定的成長、地球温暖化対策や持続的発展目標の達成に向けた取組みが求められていることに変わりはなく、素形材産業としても継続的発展のためには、それらの課題への対応は避けては通れないものとなっております。

さて、今年も例年通り、1月号では素形材産業の皆様へ自社の新製品や新技術、或いは自社自慢の技術についてご紹介頂く「わが社の素形材新技術 / 新商品」を特集として掲載しました。お陰様で各方面から多くのご応募を頂き充実した内容になりました。ご執筆者の皆さまには心よりお礼申し上げます。

読者の皆さまが本号の記事に啓発され、新たな技術開発に邁進され、大きな成果を上げられることを期待しております。

今年が皆さまにとって、商売繁盛の巳の年にあやかっただけの年になることを心より祈念申し上げます。

編集委員長 杉上 孝二